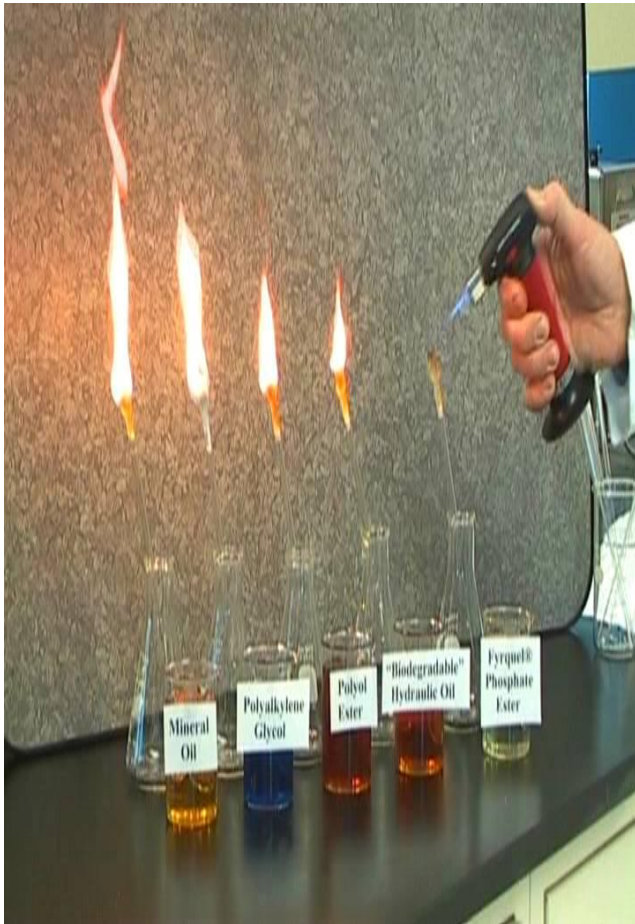


公報

難燃性作動油の偽物と詐称物

燃料比のないグラスウールを、テスト対象であるそれぞれの作動油に浸し、プロパントーチで点火します。

すべてのISO分類HFDRタイプの非リン酸エステル作動油が、鉱物油と同じように燃焼を保持して燃え続ける、という点に注目してください。



驚かれるかもしれませんが、いわゆる難燃性作動油の一部は詐称物です。そうしたところは難燃性作動油の基本的な値特性がありません。すなわち、燃焼を保持することがなく、点火しにくい状態を保つ、という難燃性作動油の特性を持っていないのです。これらのISOクラスHFDR作動油は、ホットマニホールド点火ISOテストのような標準的な火災テストによって簡単に判別できます。それらは自己消火性がないのです。

1. 非リン酸エステル系ISOクラスHFDRタイプ合成作動油は、立証済みのFyrquel®EHシリーズISOクラスHFDRリン酸エステル作動油の代替品としてよく宣伝されていますが、隣の写真に示されている通り、いったん点火すると燃え続けてしまいます。これは、リン酸エステル液と異なる点です。それは、内在的に自己消火性があり、自身で燃焼を持続させることにはないからです。www.fyrquel.comを訪問して、5分程度のデモビデオをご覧ください。ポリオール エステルとポリアルキレン グリコール、およびいわゆる生物分解性のタイプの合成油が燃え続け、点火後の燃焼を維持し続けることが明らかに分かります。
2. 「発電所の防火対策用のNFPA 850 推奨慣行」の最新版が2010年1月に発行されました。これは3.3.14.1定義：難燃性作動油を含んでいます。「点火しにくく、燃焼温度が低いことから燃焼し続けるということがないとしてリストされた油圧作動油または潤滑油。」リン酸エステル系作動油はこのNFPA 850の定義を満たしますが、他のタイプの作動油は満たしません。
3. GE Energyおよびその他のOEMの難燃性作動油の定義は、自己消火が可能な（燃焼が持続しない）作動油である、ということです。
4. より低いコストとより持続可能な製品設計を特色とする、Fyrquel® EHC Plusという名称の第3世代のHFDRリン酸エステル作動油がご利用になれます。新しく改善された、そしてより多くの安定したベースストックを持つこの新製品は、向上した空気特性、より長い耐用年数、そしてどんな作動油と比べても、より低い危険度プロフィールを持っています。

次世代Fyrquel® EHC Plus作動油に切り替えを簡単に行う方法についてお知りになりたい場合は、Fyrquel®作動油の担当者にお問い合わせください。